



# 1年間の取組み 2017

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

学校法人 中村産業学園

九州産業大学

九州産業大学造形短期大学部



# 1年間の取組み 2017

## 目次

### 事業の概要

#### 教育分野

##### 1. 教育改革の着実な実行

- (1) 学部学科の再編・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) 大学院の抜本的改革・・・・・・・・・・・・ 1
- (3) 学生の成長を促進する教育プログラムの推進 1
- (4) 教育成果の検証による教育力の向上・・・・ 2
- (5) 入試制度改革の早期実行・・・・・・・・・・・・ 2
- (6) 高大接続の強化・・・・・・・・・・・・・・ 2

##### 2. 学生支援の強化

- (1) 学生の学びを促進する環境整備・強化・・・・ 3
- (2) 除籍・退学・卒業延期者の削減・・・・・・・・ 3
- (3) 学生の海外留学促進・  
意欲ある留学生の獲得強化・・・・・・・・・・・・ 3
- (4) 課外活動の更なる活性化・・・・・・・・・・・・ 4
- (5) 女子学生比率の向上・・・・・・・・・・・・・・ 4
- (6) 就職・進学実績の向上・・・・・・・・・・・・ 4

#### 研究分野

##### 1. 研究力の強化

- (1) 特色ある研究の推進及び成果の公表・・・・ 5
- (2) 地域に寄与する研究の促進・・・・・・・・・・・・ 6
- (3) 外部資金の積極的獲得・・・・・・・・・・・・ 6

##### 2. 研究活動の活性化

- (1) 研究支援体制の再構築・・・・・・・・・・・・ 6

#### 社会貢献分野

##### 1. 地域貢献活動の強化

- (1) 生涯学習機能の強化・・・・・・・・・・・・・・ 7
- (2) 地域との交流促進・・・・・・・・・・・・・・ 7

##### 2. 地域連携活動の強化

- (1) 産学官連携の拡充・・・・・・・・・・・・・・ 8

#### 人材育成分野

##### 1. 人事トータルシステムの構築

- (1) 能力開発型の育成・評価・  
処遇等諸制度の構築・・・・・・・・・・・・・・ 9

##### 2. 職場環境の整備

- (1) 働きやすい、働きがいのある職場環境の整備 9

#### 経営基盤分野

##### 1. 安定した経営基盤の確立

- (1) 組織力の強化・・・・・・・・・・・・・・ 10
- (2) 将来を見据えたキャンパス整備・・・・・・・・ 10
- (3) 安定的な財政基盤の確立・・・・・・・・・・・・ 10
- (4) 保護者・卒業生との連携強化・・・・・・・・ 11
- (5) 志願者の獲得強化・・・・・・・・・・・・・・ 11

##### 2. 広報戦略に基づく広報・公聴活動の推進

- (1) 活動計画に基づく広報・公聴活動・・・・・・・・ 12

##### 3. その他

- (1) 創立記念事業・・・・・・・・・・・・・・ 12



# 教育分野 Education field

## 実行計画 1 ▶ 教育改革の着実な実行

### (1) 学部・学科の再編

① 文系領域の再編(平成30年4月開設)

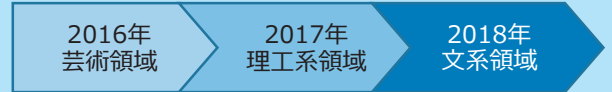
- ・ 経済学部、商学部第一部・第二部、経営学部、国際文化学部を経済学部、商学部、地域共創学部、人間科学部、国際文化学部に変更。



学部	学科	コース	学部	学科
経済学部	経済学科	昼間主コース	経済学部	経済学科
		夜間主コース	商学部	経営・流通学科
商学部第一部	商学科		地域共創学部	観光学科
商学部第二部	商学科			地域づくり学科
経営学部	国際経営学科		国際文化学部	国際文化学科
	産業経営学科			日本文化学科
国際文化学部	国際文化学科		人間科学部	臨床心理学科
	日本文化学科			子ども教育学科
	臨床心理学科			スポーツ健康科学科

新学部 商学部、地域共創学部、人間科学部

カリキュラム改正 経済学部、国際文化学部



3年間の教育改革[第1ステージ]

### (2) 大学院の抜本的改革

① 学部教育と接続した魅力ある高度専門教育への転換

- ・ 大学院の教育改革に関する計画の検討に着手。

### (3) 学生の成長を促進する教育プログラムの推進

① KSU基盤教育の更なる深化

[コア科目の充実・強化]

- ・ コア科目(本学学生として特に学ぶべき科目と位置付け履修を推奨する国語・数学・キャリア・歴史・憲法・スポーツ科目の総称)の開講クラス数を増加し、1年次の履修率が向上する体制を整備。

[特色ある科目の開講]

- ・ 英語による授業、主権者教育、防災教育等の幅広い授業を展開。

新規



#### 主権者教育



福岡市選挙管理委員会による「明るい選挙出前講義」を実施。選挙権年齢の18歳以下への引き下げの意義等について講義した後、実際の選挙で使用されている投票用紙や投票箱を用いて模擬投票を行った。

#### 防災教育



防災・減災のために必要な知識と技術を修得するため、避難所運営について学んだ。講師から、東日本大震災における経験等の講演後、本学が避難所となった場合を想定したワークショップを行い理解を深めた。

② KSUプロジェクト型教育の推進

- ・ 学部間・学外と連携した実践的な学習を展開。本年度130のプロジェクトを実施した。



#### 本年度の主なプロジェクト

[経済学部] ニビシ醤油との連携



ニビシ醤油から「夏の鍋料理」というテーマで新商品開発プロジェクトを依頼された学生達は、調査及び試作・検討の結果、30～50代の女性をターゲットとした「梅味の鍋スープ」を開発・商品化

[商学部] 志賀島振興プロジェクト



志賀島の観光・地域振興を目的に、休暇村志賀島との連携プロジェクトとして、「博多あまおう」を満喫する親子で楽しめる日帰りプランを企画。

[経営学部] 第六次産業実現プロジェクト



企画から農作物の生産・加工・販売までを総合的に手掛ける「第六次産業」の実現を目指して、たまねぎドレッシング、柚子胡椒などの多彩な商品を開発。無農薬・無添加にこだわった商品は、学内のほか、様々な場所で販売された。

[理工学部] サイバーパトロールモニター活動



福岡県警からの委託により、違法薬物の販売広告やフィッシングサイトなどインターネット上で流通している違法・有害情報の監視活動(サイバーパトロールモニター)を実施

# 必ず、カタチにしてみせる。

## [生命科学部] 化粧品の開発



古賀市特産のスイートコーンから、保湿効果に優れたコーンスターチの抽出に成功。企業との協力のもと、洗い流さないヘアトリートメント(満潤)を開発。

## [建築都市工学部] 集会所「みんなの家」設計



熊本地震の仮設団地に、県内第1号となる集会所「みんなの家」が完成。現地調査や住民ヒアリングに基づき学生が主体となり設計。

## [芸術学部] 九産大プロデュース展



地域に密着した振興活動を目的に、企業・行政などと協働し、様々な商品を開発。その成果を見える化する「九産大プロデュース展」を開催。製品の搬入、展示会場の設営、期間中の会場担当などを実践。

## [国際文化学部] 太宰府天満宮コンシェルジュ



太宰府天満宮を訪れた外国人観光客を英語で案内するコンシェルジュ活動を実施。本殿までのルート等を英語で紹介したマップを作成。

## [短期大学部] えきマチ1丁目香椎ワーク



えきマチ1丁目香椎内にて近隣住民の方を対象としたワークショップを実施。ものづくりを通じて地域住民や駅利用者の方々の交流を促進し、香椎駅周辺の活性化に貢献。

## (4)教育成果の検証による教育力の向上

### ①検証・評価体制の整備

新規

- ・教育成果の検証を行う「教育成果評価委員会」を設置。
- ・学部再編した芸術学部及び短期大学部の教育成果について検証の上、更なる改善・向上への対応。

## (5)入試制度改革の早期実行

### ①学修意欲に重点を置いた新たな入試制度の検討・実施

- ・「育成型入試」の導入

新規

### ②インターネット出願

- ・出願及び入学手続きまでの受験生等の利便性向上



## 新たな入試「育成型入試」の導入

キーワードは「育成」～「選抜型から「育成型」へ



「九産大で学びたい!」という高い意欲と、学ぶ姿勢を持った高校生を対象として、「受験前」からの育成プログラムを通して、大学で学ぶ目的や、将来のキャリアを明確にするなど、「育成」をキーワードとした入試制度。



**特徴①** KSUアドミッションオフィサーとの面談：出願前に、高校生との面談を行い、学ぶ意欲を確認した上、学部学科のマッチングを図る

九州初

**特徴②** 高等学校へのフィードバック：KSUアドミッションオフィサーが、面談結果を高等学校にフィードバックする

日本初

**特徴③** つながるプログラム：出願前から入学直後までを一貫したプログラムで、大学教育への円滑な接続を行う

KSUアドミッションオフィサー：育成プログラムの実施を通して、高校生の思いや考えを引き出し、本学で学ぶ意欲の可視化および学部学科のマッチングを図り、受験生（入学者）の育成に携わる者（学内認定資格）

## (6)高大接続の強化

### ①高大接続推進に関する諸施策の展開

- ・高大接続推進に関するワーキングを設置。ウィークデー・キャンパス・ヴィジット(WCV)の深化、本学教職員と複数の高校教諭とで行うアクティブ・ラーニングに関する研究会等の施策を展開



## 高校生が1日大学生となる教育プログラム ウィークデー・キャンパス・ヴィジット(WCV)



高校生が普段のキャンパスで、大学生と同じ授業に参加。

1日での学びを通して、自身の進路選択のきっかけとし、大学や学部学科のミスマッチを未然に防止することを目的に実施。

参加者数  
2年連続  
日本一

NPO法人NEWVERY  
による発表





# 教育分野 Education field

## 実行計画 2 ▶ 学生支援の強化

### (1) 学生の学びを促進する環境整備・強化

- ①教育支援体制の強化
  - ・奨学制度の再構築
  - ・LA(ラーニング・アシスタント)制度の推進
  - ・入学前教育(プレ・エントランスデー)の実施



#### LA(ラーニング・アシスタント)制度



- ・2年次以上の学生が初年次ゼミナールに参加し、授業に関するアドバイスや欠席者へのフォロー等を行い、初年次学生が円滑に大学生活を送ることを目的に全学部で配置している制度
- ・平成29年度は128名の学生が授業に積極的に関与し、新入生の大学理解、学修意欲の向上などに寄与した

#### プレ・エントランスデー



- ・自己推薦、高校推薦型入試に合格した生徒及び保護者を対象に実施(参加者：990名)
- ・入学までのモチベーションの維持・向上、課題に継続して取り組む意識を醸成するとともに、保護者に対する本学の教育内容への理解促進の機会を提供

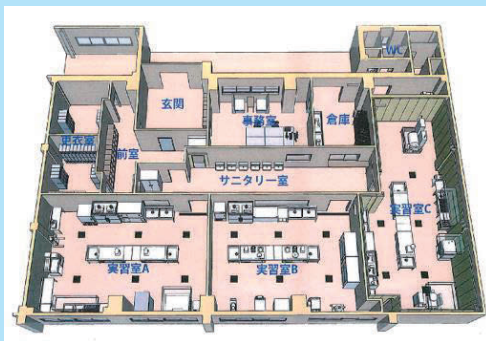
### ②教育環境の整備

- ・外国人留学生と日本人学生の交流の場「グローバルプラザ」の開設
- ・食品加工プラント及び食品開発ラボの開設 **新規**
- ・室内有効活用計画(ワンストップサービス)の実行

新規



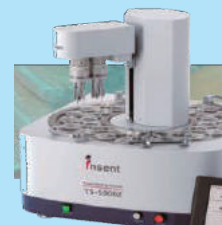
#### 食品加工プラント・食品開発ラボ **九州初**



#### 香り計測装置



#### 味計測装置



#### 解析システム



- ・実際に企業で使用されている食品加工機器を揃えたミニチュア食品工場
- ・食品開発ラボには、口腔・鼻腔内の香りの変化をリアルタイムで計測する装置や、味を計測する味覚センサーなど九州初の装置を設置
- ・地域・企業等と連携し、新製品開発を支援する

### (2) 除籍・退学・卒業延期者の削減

- ① 1・2年次に重点を置いた指導・支援の徹底
  - ・入学後2週間以内に実施する新入生全員との面談、成績不良学生への三者面談、学生の成長に資する面談スキルの向上など多面的施策を展開(除籍退学率：前年比▲0.3%)
  - ・平成30年度は、1・2年次に重点を置いた指導・支援を継続して徹底する

### (3) 学生の海外留学促進・意欲ある留学生の獲得強化

- ①海外留学の促進
  - [学生自らが企画する個人留学への経済支援]
    - ・制度名称：飛び出せ!世界へ-留学支援プログラム：9名認定(ベトナム・フィリピン・インドネシア・カンボジア)
  - [留学促進プロジェクトの展開]
    - ・ランチチャット(留学生が主催する、母国料理の提供及び文化紹介)：650名の参加
    - ・留学フェア(日本人学生を対象とした海外留学への情報提供)：380名の参加



#### 本学学生の海外留学の状況

No.	項目	参加学生数(名)	
		人数	前年差
1	KSU海外ジョブトレ	15	0
2	在外研修	159	43
3	派遣留学	13	1
4	個人留学	30	4
5	協定校との定期交流	83	-4

合計  
300名  
前年度  
差異+44名

# 必ず、カタチにしてみせる。

## ②意欲ある留学生の獲得

- ・日本での就職を前提とし、日本語能力の高い留学生への経済的支援(制度名称：Grab your future<未来をツカメ>外国人留学生支援プログラム) 志願者6名 → 3名の採用

## (4)課外活動の更なる活性化

### ①サークル活動の活性化

- ・サークル加入率の維持・向上を目的に、新入生を中心としたサークル見学ツアー等を実施。
- ・学生・教職員・後援会・同窓会等に向けて、年間を通じた活動情報、試合結果等を広く発信。

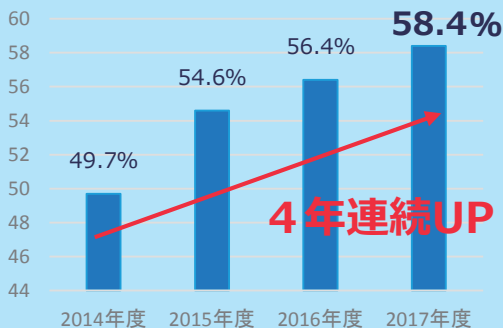
### ②ボランティア活動の推進

- ・被災地支援を目的に、学生・教職員によるボランティア隊を発足。被災地へ赴き、復旧作業を支援。
- ・福岡市東区の志賀島と西戸崎エリアで開催された「福岡トライアスロン2017」に、学生ボランティアとして参加(250名)。コースづくりや交通整理などで大会を支えた。 **新規**



### サークル加入率

区分	団体数
学友会執行部	5団体
体育会	38団体
学術文化会	31団体
任意団体	83団体
合計	157団体



### 被災地支援



発生した災害	東日本大震災	熊本地震	北部九州豪雨
発生年月	2011年3月	2016年4月	2017年7月
主な活動地域	陸前高田市	熊本市、西原村	朝倉市
参加者数(延べ)	147名	148名	235名

## (5)女子学生比率の向上

### ①女子学生の会(KSUGL)による諸活動

- ・女子学生支援室、女子学生の会(KSUGL)及び男女共同参画推進室の協働により、オープンキャンパスプロジェクトをはじめとする5つのプロジェクト、2つのイベントを開催。
- ・1年間の取組みは、成果報告会を開催し、教職員及び学生に広く公表した。  
【学生活動メンバー(KSUGL JAMの会)：389名(前年度差異▲4名)】

### ②高等学校に出向いた講演会の開催

- ・付属高校(九州高校、九州産業高校)に赴き、男女共同参画に関する講話を実施。合計856名の生徒が聴講。

## (6)就職・進学実績の向上

### ①個別面談の強化

- ・早期の進路希望状況把握及び進路決定を促進するため、各学部と連携の上、個別面談を実施。  
【個別面談率：99.7%(前年度差異：+0.3%)】

### ②インターンシップの参加促進

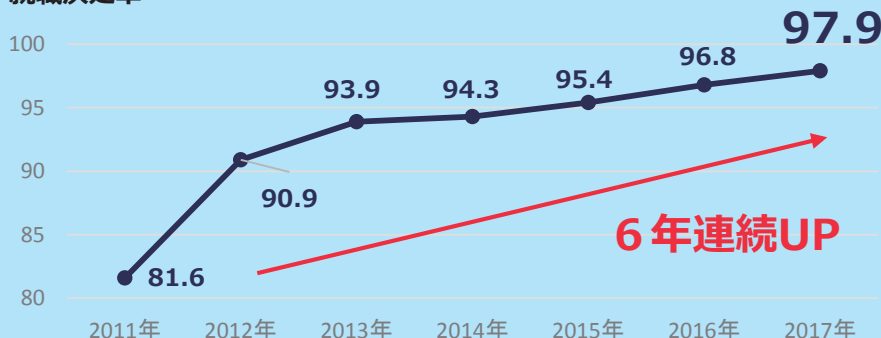
- ・低学年時からの意識の醸成、企業訪問を通じた受入れ企業の新規開拓などを通じた参加促進を図った。  
【参加学生数：388名(前年度差異：+23名)】

### ③就職関連ガイダンス等の開催

- ・学内企業合同説明会、面接・履歴書・業界説明会、就職活動集中対策セミナー等の多様な支援行事を展開。



### 就職決定率





# 研究分野 Research field

## 実行計画 1 ▶ 研究力の強化

### (1) 特色ある研究の推進及び成果の公表

#### ① 実用化研究の推進及び拡大

◆ ヒューマンロボティクス研究センター [事業総額(5年間)：2億3,033万円(うちH29：1,200万円)]

研究概要：せき損患者の機能回復支援を中核とする介護現場革新のための機器実用化

(平成26年度 文部科学省「私立大学等戦略的研究形成基盤形成支援事業」採択)



高齢者パーソナル  
トランスポートーション



介護支援用アシストスーツ



起立訓練支援ロボット

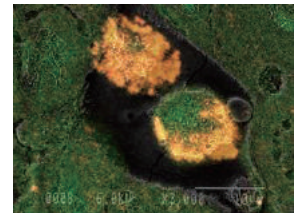
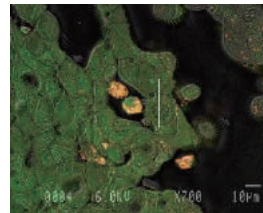
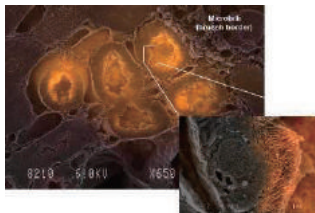
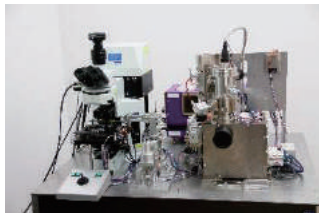


全身性麻痺患者用移動ロボット

◆ 医療診断技術開発センター [事業総額(5年間)：2億8,696万円(うちH29：2,900万円)]

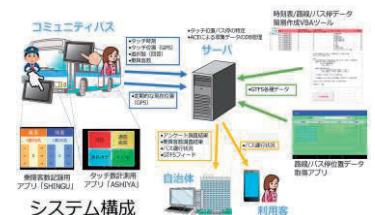
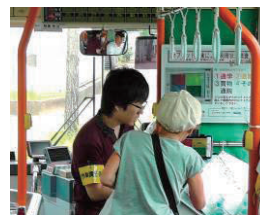
研究概要：新規蛍光色素を基盤とした医工融合による革新的医療診断技術の実用化 **世界初**

・同センターは、カラー電子顕微鏡「蛍光電子顕微鏡(FL-SEM)」を開発。高倍率のカラー電子顕微鏡が存在しない中、現在の倍率は1万倍。2020年までの商品化に向けて、安価で高品質の蛍光試薬、倍率2万倍を目指す。



◆ 自治体コミュニティバス運行管理支援システム [事業総額(3年間)：590万円(うちH29：134万円)]

研究概要：地域創生及び地域活性化を支える社会インフラ整備への貢献を目的に、自治体コミュニティバス運行管理支援システムの実用化を目指す。



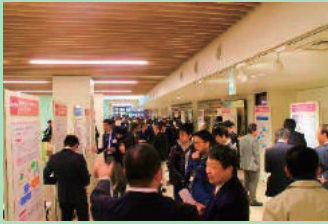
#### ② 研究成果及び研究活動の積極的な公表

- ・ 学外展示会における成果の公表：8展示会(来場者数：869名)
- ・ 学内研究シーズ発表会の開催：参加者102名(うち学外者87名)
- ・ 個別企業等訪問：22件(2件のマッチング)





## 学内研究シーズ発表会



- ・平成29年度(第2回)は、「食品」をメインテーマとして関連するシーズを紹介
- ・食品加工プラントの紹介をはじめ、9つの研究テーマに関するショートプレゼン、ブース展示では27の研究テーマに関するポスター・成果物を展示し、地域や企業の方々に研究成果を積極的に公表した

### (2)地域に寄与する研究の促進

- ①地域の課題解決・活性化を図る研究の推進
  - ・伝統みらい研究センターによる柿右衛門研究の世界的研究拠点形成及び伝統産業活性化推進事業
- ②地域の活性化に寄与する研究
  - ・研究テーマの設定及び研究費の再配分に関する検討

### (3)外部資金の積極的獲得

	科研費	受託研究	共同研究	奨学寄附金
件数	56件[新規+継続] (前年度差異±0件)	28件 (前年度差異+11件)	21件 (前年度差異+11件)	40件 (前年度差異+13件)
金額	6,799万円 (前年度差異+351万円)	2,537万円 (前年度差異+623万円)	953万円 (前年度差異+407万円)	1,635万円 (前年度差異▲247万円)

## 実行計画 2 ▶ 研究活動の活性化

### (1)研究支援体制の再構築

- ①外部資金獲得に向けた支援
  - ・科研費獲得の方法とコツ研修会及びワークショップの開催：参加者61名(前年度差異+2名)
  - ・企業・行政機関等への訪問：50回以上(獲得実績3件(315万円))
- ②公的研究費のコンプライアンス及び倫理教育の徹底
  - ・科研費等公的研究費の獲得者及び研究費の執行に携わる職員を対象とした執行説明会の開催(参加者122名)
  - ・研究者及び研究費執行に携わる職員を対象とした研究コンプライアンス研修会の開催(参加者351名)
- ③研究活動全般に関する審査体制
  - ・学内の優れた研究課題を見出し、専門的な見地から評価するための審査体制について検討



# 社会貢献分野

Social Contribution field

## 実行計画 1 ▶ 地域貢献活動の強化

### (1)生涯学習機能の強化

①幅広い年齢層を対象とした学習機会の提供

[社会人英語講座] 開催場所：本学及びJR博多シティ / 受講者数：108名(前年度差異+1名)

[キッズイングリッシュ] 開催場所：本学及び天神 / 受講者数：212名(前年度差異▲53名)

[芸術体験プログラム(アートキャラバン隊)]

- ・地域の小学生等を対象とした芸術教室を実施
- ・受講者数：130名(前年度差異：▲1名)



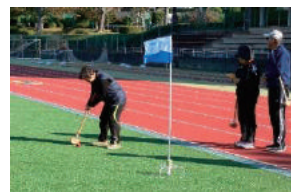
[KSUスポーツフェスタ]

- ・生涯学習の振興及び地域交流の促進を目的に、本学の学生と地域の青少年との交流事業を実施

No.	行事名	参加者数	前年度差異
1	中学生硬式野球大会	172名	+13名
2	ジュニアサッカー大会	493名	±0名
3	ソフトテニスチャレンジカップ	254名	+106名
4	ソフトテニスクリニック	46名	+22名
5	少年剣道大会	517名	+8名
6	空手道選手権大会	480名	+40名
7	健康・スポーツ講演会	342名	+42名
合計		2,304名	+231名

[教養講座]

- ・受講者アンケート結果等を参考に要望を把握した上、幼児から高齢者までを対象とした公開講座を学内外で開講
- ・受講者数：延べ3,925名(前年度差異+179名)



### (2)地域との交流促進

①地域住民アンケートの実施

新規

- ・地域の方々の期待や要望の把握を目的としたアンケートを実施
- ・学内施設の開放、施設利用に関する情報提供に対応するため、本年度新たに「キャンパス施設見学会」及び本学が制作する地域情報誌「よかとこ93」による定期的な情報発信を実施



# 必ず、カタチにしてみせる。

## ②地域に出向いた交流会の開催

- ・近隣5校区(香住丘・香椎下原・香椎・千早・香椎東)に訪問し、交流会を開催
- ・意見交換及び懇親会を通じた交流の促進、ニーズの把握を行った

## ③地域防災拠点としての機能整備

- ・災害時における教職員の迅速な対応を目的に、大規模火災を想定した実践的な訓練を実施(参加者：348名)
- ・福岡市消防局東消防署及び本学近隣の消防団との合同消防訓練を開催
- ・災害時に備え、備品・消耗品・衛生品等を年次的に設置・備蓄

## 実行計画2 ▶ 地域連携活動の強化

### (1)産学官連携の拡充

#### ①大学間連携

- ・東部地区大学(本学・福岡女子大学・福岡工業大学)連携事業の一環として、福岡県警と連携した「女子学生のための防犯推進協議会」、防犯啓発活動等を実施
- ・福岡市東区委託事業(地域力の向上に向けた調査・研究)の実施



#### ②自治体等連携

- ・福岡市をはじめとする周辺自治体等と連携した多様な事業を実施
- ・ニーズを把握した上で、本学からの提案型事業を積極的に展開
- ・企業等との連携協定の締結(福岡県工業技術センター、公益財団法人集団力学研究所)

新規

### 本学が行う多様な連携事業

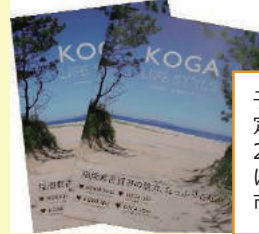
TOPIC

#### 英語絵本のお話し会【福津市】



福津市図書館において行われる、幼児から小学校低学年を対象とした絵本のお話し会において、英語絵本の読み聞かせを実施。

#### 移住・定住推進パンフレット制作【古賀市】



子育てや教育環境の充実に伴う定住化促進に取り組む古賀市の、20~40代の子育て中の女性に向けたパンフレットを制作。市役所等において配布。

#### 街道の駅・赤馬館オリジナルグッズ販売【宗像市】



第20回赤間宿まつりの開催にあわせ、当日限定のラベルのオリジナルグッズを制作・販売。

#### 福岡サンタウォークin香椎(※福岡市助成事業)【福岡市】



地域の方々とサンタクロースの衣装で街を歩き、病気と闘う子ども達にクリスマスプレゼントを贈る地域密着型チャリティイベント。





## 実行計画 1 ▶ 人事トータルシステムの構築

### (1)能力開発型の育成・評価・処遇等諸制度の構築

#### ①教職員の育成

##### ・人材育成プログラムの実施

職位・階層別研修(6回)：役割の遂行、知識・スキルの向上

全体研修会(2回)：広く大学職員に求められる姿勢や意識の啓発

目的別研修会(3回)：業務遂行力の向上や新たな立場での動機づけ

##### ・平成30年度は、学ぶ風土づくりに向けた自己啓発制度(通信講座、外部セミナー参加補助等)の見直しを行う。



#### ②教職員評価制度の検証・改善

##### [教員評価制度の見直し]

・評価項目等の見直しを実施。平成30年度以降、評価結果の処遇反映が決定。

##### [職員評価制度の改善]

・検証結果を踏まえ、係長職を一次評価者とするよう、人事評価制度を改正。

#### ③表彰制度の見直し 新規

・教職員の勤労意欲の向上を目的に、表彰制度を見直し、学園表彰規程を制定。

## 実行計画 2 ▶ 職場環境の整備

### (1)働きやすい、働きがいのある職場環境の整備

#### ①男女共同参画意識の啓発と情報発信

・管理職を主な対象に、「100年人生時代の働き方とワークライフバランス」に関する研修会を実施。

・教職員を対象とした「男女共同参画とワーク・ライフ・バランスに関するアンケート」を実施。調査結果により現状を把握した上、今後の施策実施に反映。

#### ②女性教職員の活躍促進

・女性教職員のキャリアアップを目的とする研修会を開催。テーマを「効果的な会議運営」「話し方とコミュニケーション」として2回実施。

・外部機関が実施する研修等に女性教職員を派遣(2名)した。

#### ③福利厚生制度の検証・改善

・福利厚生に関するワーキングを設置し、今後の施策について検討。

・平成30年度から、インフルエンザ予防接種費用補助、有給休暇の計画付与等を導入。

#### ④ワークライフバランスの推進

・残業時間の削減に向けた「年次計画の設定」、「ノー残業デーの徹底」を実施。

・残業時間の削減に向けたワーキングを設置。時間外勤務がなくなる学園を目指した実施事項を作成。





## 実行計画 1 ▶ 安定した経営基盤の確立

### (1)組織力の強化

#### ①経営懇談会(役員と学部長との定期的な意見交換)の設置

新規

- ・本学の課題・目的の共有、連携・協力体制の強化、大学改革の更なる推進を目的として設置(3回実施)

#### ②PDCAサイクルの定着化

- ・全職員を対象としたPDCAタイムマネジメント研修会を開催。検証・評価の重要性・必要性を共通認識し、業務の円滑化・効率化を図る基本的な考え方について、理解を促進した。

新規

### (2)将来を見据えたキャンパス境整備

#### ①キャンパスマスタープランに基づくキャンパス整備

[3号館(文系新棟)]

[新体育館(仮称:60周年記念アリーナ)]



#### 施設概要

- ・構造規模  
地上8階、地下1階
- ・延床面積  
191,931㎡
- ・主な施設  
子育て支援室、保育心理室、ピアノレッスン室、調理実習室、運動生理学実験実習室など

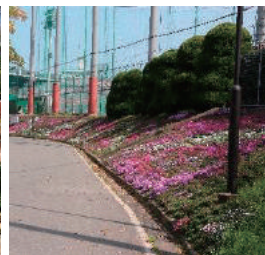


TOPIC

1階には「KSU子育て支援室」を設置。木のぬくもりが感じられる最新の遊具や4,000冊の絵本を備える。地域の乳幼児と親たちが交流するスペースで、専任の保育士と大学教員が常駐し、子育て相談や各種イベントを開催予定。7階に設置したスポーツ健康科学科の実験・実習室には「走る」「蹴る」「投げる」などの動作をミリ単位で捉える、最先端の3次元解析装置を設置。

2020年春の完成を予定し、計画に着手。1階にスポーツ用多目的室と実験・実習室、2階にメインアリーナとコミュニケーション・ラウンジ、3階に観客席とランニングコース、トレーニングルームを備えた地上3階建ての複合棟。本学の式典、スポーツ、イベント、文化活動等で幅広く活用。

#### [学内緑化プロジェクト]



地域の方々と広くコミュニケーションを図り、本学から花や緑の輪が広がることを目指して、「Campus in the Garden (庭園の中のキャンパス)」というコンセプトで、グラウンド周辺の約1,000㎡を芝桜で埋め尽くすとともに、キャンパス中央の水路に滝が流れる庭園をつくり、周辺にはもみじやシマトネリコなど約100本を植樹。

### (3)安定的な財政基盤の確立

#### ①経常費補助金の獲得強化

- ・事業推進ワーキングを設置し、補助金の獲得強化に向けた検討・対応を実施。

【交付内定額】大学：1,284,720千円(前年度差異+63,218千円)

短大：49,229千円(前年度差異▲4,691千円千円)



# 経営基盤分野

Management foundation field

## ②寄付金事業の強化

- ・同窓会総会等(15地区)において寄付依頼
- ・寄付金推進ワーキングを設置し、教職員の寄付推進に関する施策を検討
- ・本年度新たに、教職員を対象に出張寄付窓口を開設し、受付を実施(述べ12日間、22会場)
- ・2018年度は、教育・研究基盤整備を目的とした通常募金、創立60周年記念アリーナ建設を目的とした特別募金を推進する。



### 本学の募金活動

「学生の成長のために」を基本に、教育・研究環境の整備充実として、①奨学金の拡充、②国際交流の推進、③課外活動の充実、④研究活動の推進、⑤施設・設備の充実の5項目での活用のための募金活動を実施

	実績	前年度差異
件数	648件	+43件
金額	23,232千円	+4,950千円

## (4)保護者・卒業生との連携強化

### ①保護者懇談会及び学生生活相談会の開催

- ・本学の教育内容等に対する理解、修学・学生生活等に関する説明及び相談を通じた保護者との連携強化を目的に実施。
- ・保護者懇談会(本学)：1,301名(前年度差異+235名)、学生生活相談会(15地区)：561名(前年度差異▲95名)

### ②同窓会・後援会との連携

- ・主催行事を通じた交流・連携を通じた三位一体の活動を継続的に実施。

### ③本学退職者との連携

- ・本学を退職された教職員の会(産楠会)の総会・懇親会を開催。役員・教職員・会員相互の懇親を深めた。

## (5)志願者の獲得強化

### ①高校訪問の強化

- ・年間を通して、延べ2,590校(前年度差異+599校)の高校訪問。高校教員との関係性を構築の上、出願促進。

### ②説明会等の開催

[入試説明会(6~7月)] 参加高校及び参加者数：268校298名(前年度差異+38校+44名)

[新学部説明会(9月)] 参加高校及び参加者数：148校162名 新規

[オープンキャンパス等] 参加者数：5,433名(前年度差異▲125名)

Art & Designキャンパスフェスタ(芸術系希望者対象)：312名(前年度差異+73名)



### 本学の志願者状況

本年度(実績) **11,406** 名  
(前年度差異+1,047名)



## 実行計画2 ▶ 広報戦略に基づく広報・公聴活動の推進

### (1) 活動計画に基づく広報・公聴活動

#### ① 学部再編に伴う積極的な広報

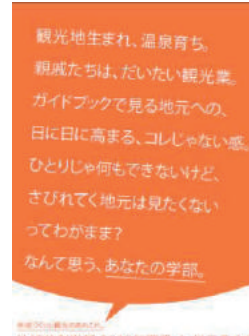
- ・ 文系学部の再編に伴い、学部構成や特色ある教育課程を伝えるリーフレット等を制作。
- ・ テレビCM、WEB等と連動させ、学生募集活動などに広く活用した。



(文系学部全体)



(新 商学部)



(地域共創学部)



(人間科学部)

#### ② 情報開示・ブランド構築に向けた広報活動の強化

- ・ 本学が提供するテレビ番組「美の鼓動・九州」の放送。
- ・ 西日本新聞社創立140周年企画「トップ対談」の掲載。
- ・ 財界誌(ふくおか経済)インタビュー記事(表紙の人)掲載。
- ・ 卒業生・新入生へのメッセージ

学位授与式及び入学式に、新聞紙面(西日本新聞)により、大学から学生へのメッセージを掲載。当日出席した卒業生、新入生及び保護者の全員に配布した。



学位授与式(2018.3.15)



入学式(2018.4.2)



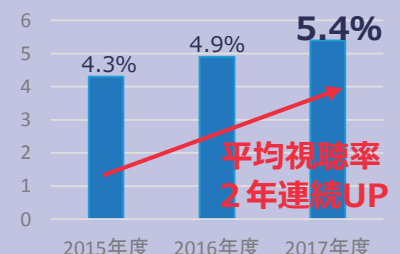
#### 美の鼓動・九州

本学が提供するテレビ番組として、芸術学部を擁する総合大学の特色を活かし、クリエイター(芸術家・伝統工芸職人・デザイナー等)に焦点を当て、地元九州に密着した番組を放送中。

平均視聴率：5.4%(前年度差異：+0.5%)



毎週日曜日 11時45分～  
テレビ西日本で放送中



## 実行計画3 ▶ その他

### (1) 創立記念事業

- ① 創立60周年(2020年)に向けた催事計画の策定及び運営体制の整備
- ② 将来(創立100周年)に向けたメッセージの検討





【発行】

学校法人中村産業学園 総合企画部企画課

〒813-8503 福岡市東区松香台二丁目3-1

T E L (092)-673-5014

F A X (092)-673-5025

Email kikaku@ip.kyusan-u.ac.jp



九州産業大学



九州産業大学造形短期大学部